

「 妙 円 寺 詣 り 」(美山少年隊)

1 学校名

日置市立美山小学校

2 学年・人数

全校児童 (1年生 7人, 2年生 6人, 3年生 7人, 4年生 10人,
5年生 7人, 6年生 7人, 計44人)

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所 (作法練習日と点検補修日)

平成28年10月12日 (水) 全学年	19:00~20:00 (体育館・理科室)
平成28年10月14日 (金) 5・6年男子	19:30~20:30 (体育館)
平成28年10月18日 (火) 全学年男子・保護者	19:00~20:30 (体育館)
平成28年10月21日 (金) 5~6年男子	19:30~20:30 (体育館)

(2) 発表の日時・場所

平成28年10月23日 (日) 9:00~13:45
美山小学校~徳重神社

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能, 伝統行事について

(1) 名称

妙円寺詣り (みょうえんじまいり)

(2) 由来

鹿児島三大行事の一つである妙円寺詣りに、全校児童が参加している。今から52年前に、当時本校のPTA会長を務めていた第十四代沈壽官が、本校の児童に、郷土の伝統行事に対する認識を深めさせ、心身を鍛錬し困難を克服してたくましく生き、社会に貢献できる人間として成長しようと努力する意欲を持ってほしいとの願いを込め、はじめた。



(3) 構成等

ア 鉄鎧を着用して歩く児童(大将・副将・三将・奉行…高学年男子児童より各1名)

イ 紙鎧を着て歩く児童 (1年生~6年生までの男子児童)

ウ 陣羽織を着て歩く児童 (1年~6年までの女子児童)

※ 上記の通り全児童が、戦国武将に扮し隊列を組み、学校から徳重神社まで徒歩で往復する。行列には、近隣の保育園児や学校職員, 保護者, 地域の方々も参加する。本校児童の参加する「美山少年隊」は、一番隊として最初に社殿行事に参加する。



5 保存会や地域との連携の具体

以前は、学校行事として行っていたが、現在では地域の「妙円寺詣り実行員会」が主体となって行事の運営に当たっている。しかしその構成メンバーのほとんどが現在の本校PTA会員で構成され、実質児童・保護者が協力して作法練習・着付け・鎧や陣羽織の補修等に当たっている。運営費は、地区公民館からの実行委員会への補助金でまかなわれている。

6 文化伝承・活用の取組の工夫した点

「妙円寺詣り」は、日置市の伝統ある行事であり、その中の一番隊として本校児童の「美山少年隊」が参加していることは美山校区の誇りであり、地域・学校が連携し今後後世に伝えていく行事である。学校としては、PTA会員が中心となりその伝統を支えるとともに、学校の教育活動の一環として「妙円寺詣りのうた」を全校児童で練習する場を組み入れるなどしている。

7 取組の様子



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

(1) 児童

低学年から在籍している男子児童は、始めは紙鎧だが、高学年では鉄鎧を着ることが出来ることを楽しみにしているようである。また、女子児童も、そろいの陣羽織を着て隊列を組んで伝統行事に参加することを楽しみにしているようである。

また、高学年になると、妙円寺詣りの歴史的な背景や、妙円寺詣りのうたに込められた思いや、それが代々引き継がれる意味についてだんだん考えることが出来るようになり、6年間を通して児童は毎年違った思いで参加しているようである。

(2) 保護者・地域住民

自らも子どもの時に参加した妙円寺詣りを運営する立場になる保護者や地域の方々も存在する。そのこともあり、妙円寺詣りに対する思いは特別なものがあるようで、当日は、多くの地域の方々が出発式に参加してくださったり、沿道からたくさんの手拍子や激励の言葉が飛び交ってくる。

(3) 教職員

妙円寺詣りが週休日に実施されているにもかかわらず多くの職員が参加している。平成29年度からは「ひおき学」も本格実施となるが、郷土の事を知る、肌で感じる体験は、貴重であり、今後も続けていく意義があるという意見が大多数である。